

JGN イベント利用報告書

イベント番号(イベント-211)

提出日 2007 年 7 月 2 日

1. イベント名

「ポラーノ広場」講演会

2. イベント概要

目的

岩手県医療福祉情報化コンソーシアム「ポラーノ広場」(会長 岩手県立大学 船生豊教授)の平成 19 年度定期総会および記念講演会について JGN を用いて全国に情報発信する

内容

記念講演会では経済産業省が実証実験として進めている「周産期電子カルテネットワーク連携プロジェクト」において、その中心者である香川大学医学部附属病院医療情報部 原量宏先生と、岩手県立釜石病院副院長 小笠原敏浩先生をお招きし、その取り組み状況や今後の課題等についてご講演をいただいた。

・日時：平成 19 年 5 月 18 日(金) 14:45～17:40

・場所：岩手県立大学アイーナキャンパス 学習室 1

(盛岡市西口 岩手県民情報交流センター「アイーナ」7F)

・プログラム：

1) 定期総会

14:45～15:15

会長挨拶、平成 18 年度活動報告、決算報告及び平成 19 年度活動計画、予算計画他

2) 記念講演会

15:20～16:30 「周産期医療の電子化～現状と動向～(仮題)」

香川大学医学部附属病院医療情報部 原量宏 教授

16:40～17:20 「産科医療過疎地域でのモバイル胎児心拍伝送装置と周産期電子カルテの応用」

岩手県立釜石病院副院長・医療研修科長 小笠原 敏浩 先生

17:20～17:40 「岩手県立大学少子高齢研究プロジェクトにおける取り組み」

岩手県立大学社会福祉学部 小川晃子 准教授、佐々木淳 准教授

出席者

岩手県内の企業，医療福祉関係者 28 名，学生 23 名， 合計 51 名

香川大学医学部 教員 5 名，学生 10， 合計 15 名

総合計 66 名

利用方法

本講演会の模様は JGN を用い，香川大学に対して双方向映像がリアルタイム配信した。講演会の中で遠隔サイト間(岩手県立大学～香川大学)での会話や意見交換等を行った。

実施の評価等

遠隔地(香川大学)の映像をプロジェクタで大型スクリーンに投影しても映像品質は良好であった。また，音声品質も問題なく，両大学のスムーズなコミュニケーションをとることで交流を図ることができた。

開催模様
下記写真の通り。



写真1 講演会場から見た香川大学側の映像



写真2 講演会場の様子（岩手県立大学アイーナキャンパス）

報告者（イベント責任者）
所属機関：岩手県立大学 ソフトウェア情報学部

以上